

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	健康・生きがいづくりと介護予防の支援			総合計画コード	221
部名	健康づくり部	主管課名	長寿はつらつ課	主管課部課コード	040200
関連部課名	健康づくり部(健康づくり課)				

1. 施策概要

めざす 目的成果	高齢者が地域活動や、様々な社会参加に積極的に取り組み、生きがいを持ち、健康な生活をしている。				
施策概要	介護予防講習会などを行ない、高齢者の健康意識向上を推進する。 老人クラブの活動を支援するため、補助金を交付する。 浜崎及び溝沼老人福祉センター事業の充実を図る。 スポーツ・レクリエーションや生涯学習など、住民主体の活動や交流の場、機会の創出を支援する。 高齢者の就業機会の確保を図るため、シルバー人材センターへの補助金を交付する。				
個別計画 関連計画	計画名称	第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画	計画期間	H 27 年度	～ H 29 年度
				H 年度	～ H 年度
				H 年度	～ H 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	・筋力向上トレーニング教室の実施(5会場各10回、延べ568名の参加) ・通年のトレーニング教室の実施(総合体育館90回、延べ4,570名参加、市民会館68回、延べ2,780名参加) ・老人クラブ連合会及び単位クラブに補助金を交付し、活動の支援を行った。 ・朝霞市社会福祉協議会を指定管理者とし老人福祉センターの管理運営を実施(浜崎老人福祉センター、個人47,959人、団体2,399人の利用、溝沼老人福祉センター個人54,462人、団体2,311人の利用 1月未現在) ・敬老会を見直し、長寿を祝う趣旨に立ち返り、長寿を祝う会として開催した。 ・朝霞地区シルバー人材センターの運営に対し、和光市、志木市と3市により補助を行った。				
H28年度の 基本概念(コンセ プト)の実施内容	安全・安心な まち	地域包括支援センターにおいて、高齢者が安心して生活できるよう、総合相談事業を实			
	子育てが しやすいまち	ぐらんば育児支援事業により、シニア男性による子育ての支援活動の実践を支援した。			
	つながりのある 元気なまち	高齢者地域交流室を地域で活動する高齢者の団体の活動場所として提供した			
	自然・環境に 恵まれたまち	老人クラブ連合及び単位クラブ活動の補助により、屋外のスポーツ大会を支援した。			
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度
		132,107	—	—	—

指標名 (説明)		単 位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
			目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
			実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
①	元気高齢者率	%	84	84	83	82	81
	(説明) 第1号被保険者のうち、要支援・ 要介護認定を受けていない人の 割合		85	—	—	—	—
②							
	(説明)			—	—	—	—

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	☐ A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) ☐ D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) ☐ B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) ☐ E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) ☒ C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
	(説明) 元気高齢者率については、ほぼ計画どおりとなっているが、介護予防事業については、さらに重要性を増している事業であるため、更なる取り組みが必要である。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	☐ A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある ☐ D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある ☒ B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある ☐ E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある ☐ C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
	(説明) 朝霞市においては、高齢化率は低いものの、高齢者数の増加、特に75歳以上の後期高齢者の増加が見込まれており、介護予防の取り組みの重要性がさらに増してくるものと考ええる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 体操教室や機能訓練等を中心とする介護予防のみでなく、就業や生きがいを持った生活を送ることも介護予防に繋がるものであるという認識を持って取り組む必要がある。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 ☐ 重点化 ☒ 内容の見直し					
	(説明) 介護予防事業については、新しい総合事業の位置づけとなることから事業全般について見直しを行う。特に、一般介護予防事業については、地域で活動する団体への支援を行うなど、身近な地域で介護予防活動が行える環境を整備する。					
行政と市民の役割分担	☐ I 行政の関与(役割)を拡大 ☐ II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 ☒ III 市民の関与(役割)を拡大					
	(説明) 同じ地域で暮らす住民同士の互助による、介護予防を推進するため、行政が主体となってサービスを提供するほか、市民が主体的に活動できるよう支援することで、サービスの提供体制の多様化を図る。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	計 (単位:千円)			—	—	—
☒ 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載						
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議】高齢者が身近な地域の中で、気軽に集える場があることが、介護予防や生きがいのある生活に繋がることから、地域で活動する団体への支援が必要である。 【外部評価委員会】シルバー人材センターへの登録者、老人クラブの加入者が減少しているが、元気な高齢者がどこでどのような活動をしているのか分析を行い、様々な働き方、活躍の仕方を想定した支援をしていってほしい。(つながりのある元気なまちへの所見より抜粋)					
部長の意見	地域住民の「互助」の活動による介護予防や生きがいがいづくりは重要である。生活支援体制整備事業の中で、社会資源の発掘・育成を推進し、地域包括ケアシステムの構築を推進する必要がある。					

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性

施策名	健康・生きがいづくりと介護予防の支援			総合計画コード	221
部名	健康づくり部	主管課名	長寿はつらつ課	主管課部課コード	040200
関連部課名	健康づくり部(健康づくり課)				

	事務事業名	総コスト(事業費＋人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
	1 介護予防事業	32,225	35,026	5	5	拡大
	2 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進事業	2,468	6,040	4	4	現状のまま
	3 彩夏ちゃん健康長寿プロジェクト事業	－	－	4	3	現状のまま
	4 地域包括支援センター支援事業(一般会計)	－	－	5	5	H28で休止・廃止・終了
	5 地域包括支援センター支援事業(特別会計)	－	－	5	5	拡大
	6 生きがい活動支援事業	14,408	15,968	4	4	現状のまま
	7 敬老事業	15,322	21,425	3	3	現状のまま
	8 老人福祉センター管理運営事業	34,763	35,499	3	3	拡大
	9 シルバー人材センター支援事業	18,386	18,149	3	3	現状のまま
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
	計 (単位:千円)	117,572	132,107	—	—	—

施策を
構成する
事務事業の
次年度の
方向性